



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL <https://www.round1.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	66,578	65.8	△4,715	—	186	—	1,097	—
2021年3月期第3四半期	40,165	△47.9	△18,141	—	△18,498	—	△16,483	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,334百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △17,642百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	11.77	—
2021年3月期第3四半期	△185.30	—

(注) 第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	161,620	49,745	30.6	518.62
2021年3月期	150,576	40,892	27.0	458.60

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 49,502百万円 2021年3月期 40,677百万円

(注) 第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,870	57.2	△1,910	—	5,030	—	4,810	—	51.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	95,452,914株	2021年3月期	95,452,914株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	1,115株	2021年3月期	6,753,635株
------------	--------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	93,217,553株	2021年3月期3Q	88,956,208株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少に伴い緊急事態宣言等が解除されたことにより、緩やかな回復基調にあったものの、未だ感染状況に左右される面が大きく、不透明な状況が続いております。

他方、世界経済においては、新型コロナウイルスの変異株が急速に拡大したことに加え、半導体等の供給制約が長期化する等、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本において、2021年10月にイーアス春日井店（愛知県春日井市）を出店いたしました。アミューズメントにおいては、ラウンドワンオリジナルの新作音楽ゲーム「クロノサークル」等、最新機種を導入いたしました。また、既存店舗のギガクレーンゲームスタジアムへの改装を引き続き進めたほか、顧客ニーズに応じた魅力的な景品の安定的な供給確保のため、株式会社エスケイジャパンの普通株式の一部を市場外での相対取引により取得し、同社を持分法適用会社といたしました。

米国においては、新しいアミューズメント機種の積極的な導入に加え、昨今の経済状況を勘案しアミューズメント利用料金等の見直しを行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高66,578百万円（前年同四半期比65.8%増）、営業損失4,715百万円（前年同四半期は営業損失18,141百万円）、経常利益186百万円（前年同四半期は経常損失18,498百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,097百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失16,483百万円）となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

2021年10月にイーアス春日井店（愛知県春日井市）を出店いたしました。アミューズメントにおいては既存店舗のギガクレーンゲームスタジアムへの改装を引き続き進めたほか、ラウンドワンオリジナルの新作音楽ゲーム「クロノサークル」や、「テトテ×コネクト」及び「CHUNITHM NEW」等の最新機種を導入いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比11.3%増、アミューズメントは前年同22.1%増、カラオケは前年同4.9%減、スポッチャは前年同53.4%増となりました。

(米国)

新しいアミューズメント機種の積極的な導入に加え、昨今の経済状況を勘案しボウリング利用料金、アミューズメント利用料金及びフード販売料金の見直しを行いました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比493.8%増、アミューズメントは前年同443.0%増、カラオケは前年同496.6%増となりました。

(その他)

その他の事業セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

なお、中華人民共和国において、2021年10月に深圳龍華壹方天地店（広東省深圳市）、同年12月に上海宝山山月光店（上海市）を出店いたしました。これらの店舗は、連結子会社である中華人民共和国現地法人、朗玩（中国）文化娛樂有限公司による出店です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11,043百万円増加の161,620百万円となりました。この要因は、現金及び預金が5,627百万円増加、未収入金が1,410百万円減少したこと等による流動資産の増加4,788百万円と、使用権資産（純額）が2,563百万円増加、アミューズメント機器（純額）が1,648百万円増加、建物及び構築物（純額）が1,443百万円増加、関係会社株式が1,243百万円増加したこと等による固定資産の増加6,255百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,191百万円増加の111,875百万円となりました。この要因は、その他流動負債が1,799百万円増加、未払金が1,550百万円増加したこと等による流動負債の増加3,698百万円と、長期借入金4,795百万円減少、リース債務が2,801百万円増加したこと等による固定負債の減少1,507百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8,852百万円増加の49,745百万円となりました。この要因は、自己株式が5,340百万円減少、為替換算調整勘定が1,237百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益1,097百万円の計上及び配当金の支払1,841百万円等により利益剰余金が811百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は30.6%（前連結会計年度末は27.0%）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、2021年11月5日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年2月10日公表の「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,851	50,479
売掛金	810	1,155
商品	378	410
貯蔵品	2,439	2,995
その他	5,538	3,767
流動資産合計	54,019	58,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	84,439	88,451
減価償却累計額	△44,351	△46,919
建物及び構築物(純額)	40,088	41,532
土地	5,736	5,736
リース資産	28,355	27,383
減価償却累計額	△13,657	△13,416
リース資産(純額)	14,697	13,967
使用権資産	2,015	4,864
減価償却累計額	△135	△420
使用権資産(純額)	1,880	4,444
その他	41,268	46,448
減価償却累計額	△24,414	△28,164
その他(純額)	16,853	18,283
有形固定資産合計	79,257	83,964
無形固定資産	799	769
投資その他の資産		
繰延税金資産	7,490	7,963
差入保証金	8,749	8,626
その他	259	1,487
投資その他の資産合計	16,499	18,077
固定資産合計	96,556	102,811
資産合計	150,576	161,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254	284
短期借入金	700	700
1年内償還予定の社債	1,192	342
1年内返済予定の長期借入金	6,461	6,285
リース債務	7,427	7,619
未払法人税等	13	417
その他	8,208	12,306
流動負債合計	24,258	27,957
固定負債		
社債	1,314	971
長期借入金	57,565	52,769
リース債務	9,506	12,307
資産除去債務	6,730	6,815
その他	10,309	11,053
固定負債合計	85,425	83,917
負債合計	109,683	111,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	25,697
利益剰余金	△2,155	△2,967
自己株式	△5,342	△1
株主資本合計	40,161	47,749
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	654	1,891
その他の包括利益累計額合計	515	1,752
新株予約権	215	241
非支配株主持分	0	0
純資産合計	40,892	49,745
負債純資産合計	150,576	161,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	40,165	66,578
売上原価	56,071	68,561
売上総損失(△)	△15,905	△1,982
販売費及び一般管理費	2,236	2,732
営業損失(△)	△18,141	△4,715
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	9
補助金収入	462	5,716
その他	230	349
営業外収益合計	705	6,076
営業外費用		
支払利息	507	685
持分法による投資損失	39	14
株式交付費	—	338
その他	515	135
営業外費用合計	1,062	1,174
経常利益又は経常損失(△)	△18,498	186
特別利益		
違約金収入	—	907
新株予約権戻入益	—	2
特別利益合計	—	909
特別損失		
固定資産除却損	23	64
減損損失	1,885	145
特別損失合計	1,909	210
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20,408	885
法人税、住民税及び事業税	163	152
法人税等調整額	△4,087	△364
法人税等合計	△3,924	△211
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,483	1,096
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,483	1,097

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,483	1,096
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,158	1,237
その他の包括利益合計	△1,158	1,237
四半期包括利益	△17,642	2,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,642	2,334
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年7月14日開催の取締役会決議に基づき、海外市場における募集による自己株式の処分を行い、2021年7月29日付で払込が完了しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,059百万円増加、自己株式が5,342百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が25,697百万円、自己株式が1百万円となっております。

(持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、株式会社エスケイジャパンの普通株式の一部を取得したため、持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより当社グループは、ラウンドワンクラブ会員の入会金等について、従来は対価の受領時に収益を認識しておりましたが、一定期間にわたって履行義務を充足し、期間の経過に応じて充足した履行義務に配分された額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響額は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,160	4,000	40,160	5	40,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,160	4,000	40,160	5	40,165
セグメント損失(△)	△11,252	△6,805	△18,057	△440	△18,498

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「米国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,885百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上金額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,555	22,767	66,322	256	66,578
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,555	22,767	66,322	256	66,578
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△307	1,484	1,176	△990	186

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。